

# 平成25年度 事業報告書

平成25年5月26日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人若年認知症交流会小さな旅人たちの会

## 1 事業の成果

平成25年度は、認知症を抱えた本人と介護する家族が心に余裕を持ちながら生活を営めるよう本人・家族交流会、旅行会を柱に据えて活動したほか、若年性認知症の地域理解の促進、認知症になっても普通に暮らせる地域づくりに向けて4つの観点で取り組みを進めました。また、会報誌を発行し会員間の情報共有、地域理解に努めました。

### （1）交流会活動、旅行会

#### ① 本人・家族交流会活動

本人・家族が集い、前向きになれる場、必要な情報を得る場として開催。（平成25年6月にプレ実施。6月27日のNPO法人設立以降、毎月第2土曜日に開催）

当初は隔月での開催を想定していましたが、間隔が開きすぎるとの声などもあったため毎月開催としました。顔の見える関係の中で開催を重ね、次回を楽しみにしているとの声も頂いています。

参加者は本人・家族、支援者含めて各回20数人（平成25年度、8回183人プレ含む）  
交流会活動開始後に新たに参加し会員となった本人・家族8組（平成26年4月まで）

#### ② 定期旅行会

本人・家族が非日常の時間を楽しみ、気持ちをリフレッシュするための機会とするため会員を対象とした旅行会を開催しました。

当初は年一回の泊りがけの旅行会のみを想定しましたが、日帰りであれば参加できるという声もあったため、日帰り旅行会を追加して実施しました。

10月12日、13日にリフレッシュ旅行会（埼玉県秩父市）を行い、一泊二日で長瀨の川下り、秩父吉田の龍勢まつり、温泉、懇親会などを楽しみました。21名参加

3月8日に日帰り旅行会（栃木県佐野市）を行い、いちご狩り、佐野ラーメン、佐野厄よけ大師、佐野プレミアムアウトレットなどを楽しみました。19名参加

#### ③ 若年性認知症の地域理解の促進

以下の4つの観点から、地域理解の促進、認知症になっても普通に暮らせる地域づくりに取り組みました。

##### 〈観点1〉地域の理解促進

設立記念講演会の開催（7月20日実施、松井久子監督「ユキエ」上映、シンポジウム「普通に生活すること～若年認知症を受け止める地域～」）120名参加

その他、公的窓口へのポスター掲示・パンフレット配布依頼、会報誌の送付などを行いました。また、地域ニュース（みんなの大和ニュース）、ミニコミ誌（おこのみっくすマガジン）への掲載、地元ケーブルテレビ放映（設立記念講演会の様子）などの協力により、地域に広く知ってもらうきっかけを得ることができました。

〈観点2〉 連携した地域づくり

設立記念講演会をきっかけとして地域の他家族会等と連絡を取り合い、活動の紹介記事をプログラムに掲載しました。相互の活動の見学なども随時行っています。

事務所前に設置した掲示板には、本会の案内のほか、他家族会等の定例会やイベント等の案内も掲示することとしました。

地域の家族会活動が本人・家族を支えるための受け皿としてさらに力を発揮できるよう、さらに縁を深めるための関係づくりを進めています。

〈観点3〉 行政、関係機関との協働

中野区内8か所の地域包括支援センターに直接出向いてのPR活動など、相談時での紹介を促すための働きかけを行いました。また行政に対する働きかけとして、中野区長を訪問し会設立の経緯、若年性認知症の困難状況等を説明するとともに、区としての実態把握、施策充実を要望しました。

その他、先駆的に取り組む若年性認知症デイサービス施設等の見学・交流、講習会講師の受託、東京都会議への出席などを行いました。

杉並区が発行した「医療・介護関係者のための認知症対応サポートガイドブック」（平成26.3発行）に掲載されるなど、徐々にではありますが活動を認識してもらえるようになってきました。

〈観点4〉 次につながる活動づくり

学生（東洋大学、帝京平成大学）の参加を得ながら活動を行うことができました。

東洋大学の学生についてはゼミ活動（加山ゼミ）として、帝京平成大学の学生についてはボランティア活動の一環としての参加となります。

学生たちの感想レポートなどから彼らの成長に貢献できたことが伺えます。

（3） 会報誌の発行

会員間の情報共有、地域理解に資するため10月以降に創刊以降、毎月発行。会員、関係機関等に配布しました。

会報誌の主な配布先：会員57、関連機関等75（公的相談機関、医師会、他家族会等）

※NPO法人設立前に計3号をプレ発行（うち2号は平成24年度に発行）

2 事業の実施に関する事項（平成25年6月27日～平成26年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出額(執行率)
若年認知症家族交流会事業  予算1,046,000円 ↓↓↓ 支出1,408,107円 (134.6%)	1) 本人・家族交流会 (予算：310,000円)	7月～3月 毎月1回 (10月、3月を除く)	マイルドハート高円寺他	延63人	若年性認知症の本人・家族 7回開催 延107人	375,424円 (121.1%)
	2) リフレッシュ旅行会 (予算：602,000円)	10月 一泊二日	埼玉県秩父市	11人	本人・家族 10人	764,865円 (127.1%)
		3月 日帰り	日帰り圏内の観光地等	8人	本人・家族 11人	
3) 会報誌の発行 (予算：134,000円)	10月～3月毎月1回	—	2人	関係機関及び会員 各号200枚	267,818円 (199.9%)	

若年認知症に係る理解促進事業	講演会や相談会を開催する。 (予算：412,000円)	7月	中野・サン普拉ザ	20人	一般市民、関係機関 120人	508,636円 (123.5%)
介護、旅行に係る人材育成事業	介護サポーター活動などを通じ学生等の人材育成を行う。 (予算：0円)	7月～3月の毎月（交流会、旅行会にて）	マイルドハート高円寺他	4人 (理事)	大学生等 各回5人	0円
旅行を通じた心の余裕づくり事業	本人・家族のニーズに応える旅行を随時企画する。また、家族、他団体等の旅行支援を行う。 (予算：2,559,000円)	—	—	—	—	0円 実施見送り
IT活用支援事業	パソコン、インターネット等を活用するための環境整備、サポートを行う。 (予算：0円)	—	—	—	—	0円 実施見送り

## (2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額
損害保険の代理業務	旅行の実施に伴い旅行傷害保険等を取扱う。 (予算：0円)	—	—	—	0円 実施見送り
広告事業	ホームページ、パンフレット等に有料広告を掲載する。 (予算：0円)	—	—	—	0円 実施見送り
物販事業	若年認知症家族を支援するために寄付された物品等を販売する。 (予算：0円)	—	—	—	0円 実施見送り